

## 診療科研修コース

## 診療科研修名【呼吸器科コース】

## 1. 診療科(専門領域)

呼吸器科

## 2. コースの概要

内科系基礎プログラムと呼吸器科プログラム(基礎領域)を終了し、さらに専門性を希望する者には2年間の専門領域の研修も可能

## 3. 取得資格

3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医( )

5年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医( )

## 4. 長期目標

- ・気管支鏡による、肺癌、各種びまん性肺疾患の確定診断の修得
- ・進行性肺癌への抗がん剤治療、放射線治療、分子標的治療、対症療法と末期医療の修得
- ・慢性呼吸不全の内服・吸入治療、呼吸リハビリ、在宅酸素療法、マスク式人工呼吸療法の修得
- ・各種感染症(肺炎、肺結核、結核性胸膜炎、膿胸、燕下性肺炎など)の対処の修得
- ・気管支喘息へのガイドラインに即した治療の修得
- ・睡眠時無呼吸症候群の確定診断の修得はアレルギー科にて行う

## 5. 取得手技

- ・気管支鏡の習得
- ・急性憎悪時の挿管、人工呼吸器治療の習得

## 6. 研修期間

5年間

## 7. 募集人数

3名

## 8. 診療科の前年度実績と目標症例数

主要疾患	症例数(年間)	目標症例数(1年間)
肺癌	100(延べ)	10
慢性呼吸不全(急性憎悪)	30	10
肺炎等各種感染症	77	10
気管支喘息	9	1

手技	件数(年間)	目標件数(1年間)
気管支鏡	150	50
気管挿管	10	3

### 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名

上野 清伸

〃

診療科経験年数

24年

### 10. コンセプト

- ・感染症に始まり、慢性呼吸不全、間質性肺炎、肺癌などの診断・治療と、他科症例のコンサルトを積極的に行うことで専門医を目指す総合的な臨床経験を習得する。
- ・病理及び細菌検査部門の技術習得も可能である。

### 11. 一般目標

- ・各種疾患の診療、標準的治療の修得
- ・気管支鏡検査による病型診断及び治療法を修得
- ・臨床経験を通じた、各種疾患の基本的治療方針の修得
- ・チーム医療の実践法を修得
- ・臨床研究の基本的方法などの修得

### 12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

可能

不可

施設外との交流研修

可能

不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

### 13. 共通領域研修について

- ・医療安全研修会の開催(年4回)